

## 大学基準2. 教育研究組織

## 中期目標

【目標1】理念・目的を踏まえ、且つ社会的要請に対応した大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織を適切に編成する。

## (1) 大学評価委員会

中期計画【計画1】(目標1に対応する計画)		達成度評価指標【指標1】	
	[1-1] 各「自己評価実施部会」にて、毎年度の事業計画立案と実績報告を行う。 [1-2] 「学園政策会議」にて、本学の総合的政策及び戦略にかかわる基本問題の審議を行う。		[1-1] 事業計画立案と実績報告、自己点検・評価年次報告書の作成 [1-2] 審議記録(注:問題の設定にも依存する。)
2017年度	<b>年次計画内容</b>	<b>計画実施状況</b>	<b>指標に基づく中期目標の達成状況</b>
	[1-1] 各教育研究組織における事業計画立案と事業実績報告について、より効果的な方法となるように改善を進める。	次期認証評価に向けて必要な課題等を認識してもらったため、新たな「評価の視点」等を学内へ提示する計画であったが、まずは次期認証評価の体制整備が先決と考え、今年度は時期尚早と判断した。今後の提示に向け、適切な周知方法や時期、「自己点検・評価」項目への反映策に関する課題を委員会で共有した。	2018年度の年次計画作成依頼時に重点取組課題を提示し、次期認証評価も主眼におきながら、取り組みを一定の方向へ導くこととした。
	[1-2] 大学の改革・再編案について、学園政策会議で具体化を図る。	2017年10月、学園政策会議の結論を全学に提示し、関係機関の審議に付された。概ね提案通り承認され、設置準備室を開設し、今後の具体的な検討に着手したところである。	2018年度から心理学部を開設する。さらに、数年後の開設に向け、魅力ある新たな学部、新たなキャンパスの具体化を図る。
2018年度	<b>年次計画内容</b>		
	[1-1] 次期認証評価を見据え、新たな「評価の視点」等を自己評価実施部会へ提示する。 [1-2] 新たな学部、新たなキャンパスについて、その具体化を図る。		